

国際経営フォーラム 「日韓における企業経営と経営環境」

照 屋 行 雄

フォーラム開催の概要

神奈川大学国際経営研究所は、国際経営に関する理論的・実践的研究を行い、その成果を大学や大学院の教育指導の場に生かすと同時に、広く一般社会に公表することによって、科学の進歩と経済社会の発展に寄与することを主たる目的として事業を展開している。その重要な事業の一つが、国際交流事業の推進である。

当研究所では、今年度の国際交流事業の一環として、2000年10月3日に韓国釜山市の東西大学校・国際コンサルティングセンターとの国際経営フォーラムを開催した。この国際経営フォーラム開催の意義は、第1に、日韓の両大学附属研究所間の学術・研究者交流の機会をもち、今後の交流発展を期すことにあり、第2に、本学当研究所の立地する地域の市民や企業・団体・行政等との地域交流を促進する機会とすることにある。

国際経営フォーラムの開催概要は、次の表（当日の実施プログラム）に示すとおりである。

主催 神奈川大学国際研究所
後援 平塚市・平塚商工会議所

国際経営フォーラム・プログラム

「日韓における企業経営と経営環境」

日時／2000年10月3日（火）13:00～17:00

場所／平塚市教育会館・大会議室（平塚市）

司会 林 悦子（神奈川大学経営学部 助教授）

13:00 受付の開始

13:30 開会の挨拶 照屋行雄（神奈川大学国際経営研究所 所長）

〈 第一部 パネリストの報告 〉

:40 鄭 守源 氏（韓国・東西大学校教授 国際経営学）

「21世紀の韓日協力と企業経営」

14:10 小林 好隆 氏（株式会社 共 伸 代表取締役社長）

「中小企業の経営実態と環境変化」

:40 朴 尚範 氏（韓国・東西大学校教授 国際金融論）

「韓国における金融ビッグバンと企業経営」

15:10 海老澤栄一 氏（神奈川大学経営学部教授 経営組織論）

「地球村時代の企業経営と地域経営」

:40 （ 休 憩 ）

* 質問書を配布し、フロアからの質問を受け付ける。

〈 第二部 パネルディスカッション 〉

15:50 パネリストによる討論

コーディネイター 後藤 伸 氏（神奈川大学経営学部 教授）

パネリスト 鄭 守源 氏（東西大学校 教授）

小林 好隆 氏（株式会社共伸代表取締役社長）

朴 尚範 氏（東西大学校 教授）

海老澤栄一 氏（神奈川大学 教授）

16:50 閉会の挨拶 行川一郎（神奈川大学経営学部 教授）

会場には多くの聴衆が参集し、熱心に報告を聞き、ディスカッションに参加した。当日のパネリスト4氏による基調報告並びにパネルディスカッションの内容は、日韓における企業経営の現状と問題点、および企業経営環境の変化とその対応に関して示唆に富む内容であった。録音テープを忠実に記録したものを基本として、ここに誌上載録した。

今回の国際経営フォーラムの開催にあたって支援頂いた平塚市並びに平塚商工会議所の関係者の方々に感謝申し上げたい。また、パネリストとして協力頂いた韓国東西大学の3名の先生方と株式会社共伸の小林好隆社長にお礼を申し上げる。そして、パネリスト、司会、コーディネイターなどフォーラムの運営に労を厭わなかった当研究所のスタッフに対して感謝の意を表わしたい。

韓国東西大学の先生方の報告原稿の翻訳および当日の通訳を務めてくれた本学大学院博士後期課程の林桂賢君と金字烈君に感謝申し上げます。とくに林君には、東西大学校との交流事業の推進に際して多大な協力を頂いた。記して感謝したい。また、長時間にわたる基調報告およびパネルディスカッションの録音テープを丁寧に起してくれた当研究所客員研究員の桜井武典氏の協力を多としたい。若い3名の研究者の大成を願ってやまない。

〔開会の挨拶〕

司会 林悦子氏（神奈川大学経営学部助教授）

本日は当会場にお越し下さいましてありがとうございました。時間になりましたので、これから神奈川大学国際経営研究所主催ならびに平塚市・平塚商工会議所後援によります「国際経営フォーラム―日韓における企業経営と経営環境―」をはじめさせて頂きたいと存じます。本日は皆様にお越し下さいましてありがとうございました。日韓研究者の合同フォーラムでございますので、本日は通訳をお願いしております。通訳は神奈川大学大学院の林桂賢さんで、ドクターコース会計の1年生です。よろしく御願いします。もう一人は金字烈さんで、ドクターコース経営の2年生です。お2人をお願いしております。それでは早速、神奈川大学国際経営研究所所長の照屋行雄先生に開会の挨拶をお願い申し上げます。

照屋行雄氏（神奈川大学国際経営研究所所長）

国際経営研究所の所長をつとめております照屋行雄です。本日は、大変お忙しいなかをご出席頂きまして心からお礼申し上げます。本日のテーマは「日韓における企業経営と経営環境」です。4名の先生方には統一論題を踏まえた上、それぞれのサブタイトルで報告して頂きたいと思えます。我々がこういう企画を考えましたのは、国際経営に関する様々な検討を大学において行っているからであります。もう10年あるいは10年以上になります。我々が大学で国際経営に関する研究や教育を行った成果を、学生はもとより地域の人々あるいは広く社会に報告、公表することが国際経営研究所の大きな役割であると考えております。

そのような意味で、ジャーナルや機関誌その他様々な形で公表してまいりますが、特に国際経営ということでこれからは国、地域、大学が、外部の組織あるいは市民と交流を深めていくことは強く求められております。大学は教育研究を行うのみでなく、地域社会の人々に対し研究成果を公表すると同時に、地域から学ぶという姿勢で積極的に神奈川大学国際経営研究所の事業を展開して参りたいと思っております。今年度からそのような重要事業の一つとして国際経営フォーラムを企画しました。

本日のフォーラム開催にあたっては平塚市ならびに平塚商工会議所の後援を頂いております。これから5時まで先生方のご報告をお願いし、後半部分のパネルディスカッションについては、21世紀に向けた企業経営のあり方に関する現状分析、問題点から課題を明らかにし、新時代における企業経営や地域経営を検討していき

いと思います。個々の企業がどういう形で社会や地域に対して貢献していかなければならないのか、これから我々一人一人が、「国際と個性」とのハーモナイゼーションをどうはかっていくのか、こういうことを考えるいい機会になればと思います。そのような意味で最後までよろしくお願い申し上げます。簡単ですが、心から関係者のご協力に感謝し、開会の挨拶と致します。

司会

照屋先生ありがとうございました。それでは韓国側から、韓国東西大学校教授国際コンサルティングセンター所長姜周勲先生からの開会のご挨拶を頂きます。

姜周勲氏（韓国・東西大学校教授 国際コンサルティングセンター所長）

私は韓国東西大学校から参りました姜周勲と申します。今回は神奈川大学国際経営研究所と東西大学校国際コンサルティングセンターとの合同国際フォーラムを開催することになりまして本当にうれしく思います。今回の国際経営フォーラムを契機にして、これからも持続的な学術交流および地域間交流を続けていければと思います。最後に私たちを招いてくださった神奈川大学、照屋先生、国際経営研究所の皆様、平塚市・平塚商工会議所および市民の皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。

司会

姜周勲先生ありがとうございました。それではこれからパネリストの皆様からのご報告を頂きます。大変ご挨拶が遅れましたが、本日司会をさせていただきます神奈川大学の林悦子と申します。どうぞよろしくお願い致します。皆様のお手元にプログラムがあると思いますが、4人のパネリストの方に30分ずつお話を頂きまして、皆様からのご質問は3時40分の時点で質問書をお配りしますので、それにお書き下さい。第二部のパネルディスカッション時にとりあげさせていただきますので、よろしくご配慮のほどお願い申し上げます。

それでは最初のパネリストの方をご紹介します。最初は韓国東西大学校で国際経営学がご専門の鄭守源先生です。鄭先生は日本の拓殖大学で商学博士号を取得しておられますので、日本事情はもちろん、日本語にも精通しておられます。ご著書は『指先から出る競争力』ということで、生産性向上に関わる問題についてもお造詣が深くていらっしゃると思います。本日はこのプログラムにありますように「21世紀の韓日協力と企業経営」ということでご報告をして頂きます。それでは鄭先生よろしくお願い申し上げます。